

平成30年度は、巡回教室の開催(16回、16名)、コンサルタントの派遣(3回、3名)、ブロック研修会への講師派遣(4回、7名)を行った。実施状況を下表に示す。

平成30年度巡回教室、コンサルタントの派遣、ブロック研修会

| 都道府県 | 実施時期 | | | | 区 別 | 開催場所 | 派遣希望 専門家 | | 課 題 |
|------|------|---|-------|---|---------|--------------|-------------|------------------------|---|
| | 月 | 日 | 日 | 日 | | | | | |
| 青森県 | 2 | 月 | 15 | 日 | 巡回教室 | 十和田市 | 浜野龍夫 | 徳島大学 | 関わるみんなが Win になれる「水辺の小わざ魚道」 |
| 岩手県 | 6 | 月 | 7~8 | 日 | 巡回教室 | 釜石市 | 山本麻希 | 長岡技術科学大学 | 岩手県沿岸地区におけるカワウの効果的な被害防止対策について |
| 秋田県 | 9 | 月 | 10 | 日 | 巡回教室 | 秋田市 | 坪井潤一 | 中央水産研究所 内水面研究センター | 誰にでもできる溪流魚保全 |
| 山形県 | 6 | 月 | 20 | 日 | コンサルタント | 天童市 | 大越徹夫 | 全国内水面漁業協同組合連合会 | 内水面漁業の現状と今後の展望 |
| 栃木県 | 3 | 月 | 12 | 日 | 巡回教室 | 宇都宮市 | 奥山文弥 | 東京海洋大学 | 釣りによる地域活性化に向けて ～若者や女性遊漁者の増加に向けた取り組みと遊漁による地域おこし～ |
| 群馬県 | 9 | 月 | 25 | 日 | 巡回教室 | 前橋市 | 坂本 崇 | 東京海洋大学 | 養殖魚類におけるゲノム情報を活用した育種研究の現状と展望 |
| 石川県 | 7 | 月 | 12 | 日 | コンサルタント | 羽咋郡 | 今井 智 | 瀬戸内海区水産研究所 | トラウトの養殖について |
| 山梨県 | 7 | 月 | 13 | 日 | コンサルタント | 甲斐市 | 浅枝 隆 | 埼玉大学大学院 | 植物繁茂により漁場環境の悪化したアユ漁場の対策について |
| 長野県 | 7 | 月 | 19~20 | 日 | ブロック研修会 | 松本市 | 山本剛史 | 増養殖研究所養殖システム研究センター | マス用配合飼料のあるべき姿 |
| | | | | | | | 鈴木秀和 | 日本養魚飼料協会 フィードワン株式会社 | 魚粉削減への取り組み |
| 静岡県 | 12 | 月 | 15~16 | 日 | 巡回教室 | 静岡市 | 坪井潤一 | 中央水産研究所 内水面研究センター | 効果的なアユの放流手法、特に早期小型アユの放流効果について |
| 愛知県 | 7 | 月 | 10 | 日 | 巡回教室 | 西尾市 | 山本民次 | 広島大学大学院 | 瀬戸内海における貧栄養化の過程とその解釈 |
| 滋賀県 | 12 | 月 | 6~7 | 日 | ブロック研修会 | 東京都 | 玉手 剛 | 標津サーモン科学館 | 野生サクラマスを対象とした生活史進化研究 特に体サイズの性的二型研究について |
| | | | | | | | 谷口義則 | 名城大学 | 養殖イワナを放流せず持続可能な遊漁資源を生み出す方法 |
| 京都府 | 6 | 月 | 21 | 日 | 巡回教室 | 宮津市 | 伊藤 篤 | 瀬戸内海区水産研究所 | アサリの増養殖・資源管理について |
| 兵庫県 | 5 | 月 | 25 | 日 | 巡回教室 | 洲本市 | 鳥居享司 | 鹿児島大学 | 伊勢湾・三河湾のイカナゴ漁業管理の現状と課題 |
| 和歌山県 | 11 | 月 | 7~8 | 日 | 巡回教室 | 白浜町 | 大越徹夫 | 全国内水面漁業協同組合連合会 | 内水面漁業の振興に関する法律の活用と今後の展望 |
| 鳥取県 | 9 | 月 | 5 | 日 | 巡回教室 | 鳥取市 | 坪井潤一 | 中央水産研究所 内水面研究センター | 費用対効果の高いアユ種苗放流方法 |
| 島根県 | 9 | 月 | 7~8 | 日 | 巡回教室 | ①松江市 ②浜田市 | 小川和夫 | 目黒寄生虫館 | 海産魚における人体寄生虫と商品価値を落とす寄生虫について 海産魚の人体寄生虫と寄生虫性食中毒について |
| 広島県 | 10 | 月 | 9 | 日 | 巡回教室 | 尾道市 | 南部智秀 | 山口県水産研究センター | キジハタの放流と資源管理 |
| 山口県 | 9 | 月 | 20 | 日 | ブロック研修会 | 山口市 | 浜野龍夫 | 徳島大学 | 温暖化にさらされる河川生態系に必要な水辺の小わざ |
| | | | | | | | 田子泰彦 | 富山県農林水産総合技術センター水産研究所 | ダム等の建設が河川漁業に及ぼした影響とその復元に向けて |
| | 2 | 月 | 7~8 | 日 | ブロック研修会 | 東京都 | 高橋勇夫 | たかはし河川生物調査事務所 | アユの生態を探り、資源再生を図る |
| 徳島県 | 2 | 月 | 5~7 | 日 | コンサルタント | 海部郡 | 吉村 拓 | 西海区水産研究所 | イセエビの持続的生産と資源管理 |
| 長崎県 | 11 | 月 | 3 | 日 | 巡回教室 | 北松浦郡 | 内田和男 | 全国内水面漁業協同組合連合会 | アユ資源の増殖と管理について |
| 大分県 | 8 | 月 | 30 | 日 | 巡回教室 | 玖珠郡 | 坪井潤一 | 中央水産研究所内水面研究センター | カワウに負けない釣れる釣り場づくり |
| 24府県 | | | | | 23案件 | | 26名 | | |